リアルな存在であることを活かして

ある日ある人から手書きの手紙を頂いて嬉しく、何度も読み返していた。デジタルのメールとの違いはリアルな存在であること、そしてその意味や価値についても改めて考えた。メディアが多様化する中にあって、配達されて手に取る新聞こそは最も「リアルな存在」だろう。たとえオールドと呼ばれても。それが故の「存在感」も「可能性」も発揮できるはずだ。アイデアや工夫次第で、リアルをこそ強みにして。今年の新聞広告賞では、そのことが多く例証されたと思う。

広告主部門の大賞、鹿屋市は紙面の「表裏」で「論争広告」を仕掛けた。この使い方が秀逸で、読み返し読み比べたくなる。新聞広告賞の味の素は紙面を「ランタン」に、沖縄セルラー電話は「絶滅危惧種図鑑」に。集英社の「地域密着原稿」、第一興商の「カラオケランキング」は取っておきたくなる紙面。日本物流団体連合会はサンタからの「クリスマスカード」にしてみせた。優秀賞の10点も、30段の紙面を生かすものなど、リアルの強みを発揮したものが多い。

新聞社企画・マーケティング部門でも、各社とも紙面使いに工夫を 凝らしている。産経新聞東京本社のマルチな展開、下野新聞社のポッ プなデザイン、信濃毎日新聞社の遊び心ある仕掛け。北日本新聞社は ゲームになぞらえたアイデア、山陽新聞社は地域と人のつながりに好 感が持てる。新聞紙面のリアルさだけでなく、テーマの設定や取り組 みに地域に密着したリアリティーが感じられるのも、新聞ならではの 強みと言えるだろう。奨励賞となった各社も、新鮮な切り口の企画が 多く新聞の底力を感じさせてくれた。アイデア次第でいままで見たこ とのない紙面が生まれるし、新しいアクションにもつながってゆく。

新聞広告はまだまだ進化することができる。そう思えたのは心強いのだが、もちろんそれは簡単なことではない。惰性に寄らずに新しい発想で取り組まなければならない。その意志を持続するためには大変なエネルギーがいるだろう。だから若い世代に期待したいのだ。それは大変だけど、とてもやりがいのある仕事になるはずだから。



一倉 宏氏

コピーライター クリエーティブディレクター

1955年、群馬県出身。サントリー宣伝部にコピーライターとして勤務。 90年より独立し、一倉広告制作所を設立。代表作に、サントリーモルツ「うまいんだな、これがっ」、パナソニック「きれいなおねえさんは好きですか」、ソニーウォークマン「哲学するサル」編、NTTデータ「ホーキング博士」編ほか、ファミリーマート「あなたと、コンビに」、大塚製薬「ポカリ、のまなきゃ」などがある。



葛西 薫氏

アートディレクター

1949年、札幌市出身。文華印刷、 大谷デザイン研究所を経て、サン・ アド入社、現在に至る。代表作に、 サントリーウーロン茶中国シリーズや ユナイテッドアローズの長期にわたる 広告制作、虎屋の CI・空間・パッ ケージデザイン、サントリー、六本 木商店街の CI・サイン計画など。ほ か映画・演劇の広告美術や装丁も数 多く手掛ける。著書「図録 葛西薫 1968」(ADP)。

コミュニケーションとは、 相手を想像していること

相手の思いやりがものすごく伝わることがある。そもそも相手を思うということは、相手の立場から見える景色を想像することだ。デザインも同じである。情報が散乱した広告は読む気をそぎ、広告主や商品に対するイメージも落としてしまう。タイポグラフィーや文字組みを意識した整然とした場を作ることが、相手を思う丁寧なコミュニケーションの基本である。

新聞広告大賞の鹿屋市の広告は、読者に向かってきちんと発言する強さと、多少の腰の低さが同居しており等身大でユーモラスだ。新聞広告賞の味の素は、時代を経ても変わらない家族団らんの温かさを、デザインで巧みに表現した。沖縄セルラー電話は、生き生きとした生物のイラストレーションがところどころ隠れることで、読者に想像の自由を与え、沖縄の風景をより一層思い起こさせている。優秀賞のしん次元クレヨンしんちゃん製作委員会は、「キミは、いたほうがいいよ。」というコピーと順序良くデザインされたビジュアルが懐の深さや愛情を感じさせる。

新聞社企画・マーケティング部門の新聞広告賞の山陽新聞社は、登場する地元の人々の表情に誇りを感じるすがすがしい写真と、次のページに進みたくなる読みやすい紙面で印象深い。下野新聞社が用いた軽いタッチのイラストは、深刻な社会的課題を身近に感じさせるための入り口としてふさわしい。信濃毎日新聞社は、「視点を変えれば、長所しかない。」という少し照れるような思いをストレートに表現してくれた。奨励賞の岩手日報社のデザインは能登への思いをスマホ上で気軽に読む感覚にさせており、企画意図が一目瞭然で伝わる誠実な広告だ。長崎新聞社は、統計的事実を淡々と伝える表現が独特であり、怖さを感じるほどの紙面は傑作と言える。

限られたスペースの新聞広告には情報の整理能力が問われる。今回 の入賞活動はいずれも読み手を思いやる広告で、読者の体に染み込ん でいくはずだ。

優秀な学生と接しても、知識に偏りを感じることがある。聞けば、情報はSNSだけで得ているという。SNSは各自の興味に沿った情報をタイムラインで教えてくれる。便利ではあるが、知識は広がらないし、時に押しつけがましく思うこともあるだろう。

さて、自分はどうだろう。新聞は電子版で読む。電子版で知った保存したい紙面はコンビニで購入することもあるが、紙面を透かしたり、折ったり、ライトで照らしたりはしない。初めて参加した予備選考会でこうした見方を経験し、紙の新聞広告に圧倒された。

記事には客観性が必要だが、広告には訴えたい主張がある――それを思い出させてくれたのは鹿屋市や味の素の広告だった。生き物図鑑のような沖縄セルラー電話はページをめくるワクワク感があった。各紙切り替えの集英社や農林水産省は、地域性を生かした新聞ならではのきめ細やかさ。どの広告も押しつけがましくなく、落ち着いて能動的に読むことができ、自分の興味を広げてくれた。

自戒の念を込めるのだが、広告を評価する際、コンバージョン率を 過度に意識してしまっていた。データで測れない価値が新聞広告には あり、興味の土壌を作ってくれる新聞は再評価されるべきだ。



新井 範子氏

慶應義塾大学大学院社会学研究科後期博士課程単位取得。 淑徳大学、専修大学を経て、 2010年より現職。専門はデジタル空間におけるマーケティングを中心に生活者と企業の価値創発に関する研究。

企業や作り手にとって、新聞広告はいまなお特別感がある。しかし、だからこその落とし穴もある。肩に力が入り、良いことや大きなことを言おうとするほど、相手がどう感じるかという当たり前の視点がつい抜けてしまう。その点、第一興商の通信カラオケ「DAM」は素晴らしいと思った。30周年の節目に、自社の思いを声高に語るのでなく紙面でも読者を楽しませてみせた。しん次元クレヨンしんちゃん製作委員会による映画の告知。子どもの気分が沈みがちな夏休み明け直前

という掲載タイミングと同様に、一見些細な言葉選びにも、受け手への配慮を感じる。牛派と鰻派の掛け合いが面白い鹿屋市の文章も、沖縄セルラー電話による生き物たちの圧巻のイラストも、紙面を見た人の感情を想像しながら作られているように思う。伝える相手に思いを馳せることが大切。なんとも凡庸なことを筆者は書いている。だが、どんな天才にも不可能なことを一瞬でやってのける人工知能が、子どもでも簡単にできること(たとえば思いやりだ)を習得できないという不思議もある。人間ならではの仕事を模索しなければいけない時代

のヒントが、このあたりにある気もしている。



公庄 仁氏

サン・アド所属。主な仕事に、「ざんねんないきもの事典」シリーズなど。近年は京都のクラフトビール醸造所「CRAFT BANK」や城崎温泉の和菓子店「発酵館菓うかわ」のブランディング、神戸市交通局「KOBE KAWARU ACTION」や福岡の東野産婦人科のコピー「未来は、女性から生まれる。」など、地域の仕事

に数多く携わる。

応募状況・選考経過

第44回 (2024年) 新聞広告賞は、2023年6月1日から24年5月 31日までに新聞協会会員各紙に掲載された広告活動を対象に、広告主、広告会社、新聞社に応募・推薦を呼び掛けた。その結果、広告主部門に225件 (すべて単独広告主)、新聞社企画・マーケティング部門に49件 (単独企画47、共同企画2) の応募・推薦があった。

新聞協会会長の任命する委員をもって新聞広告賞選考委員会 (=広告委員会)が組織され、下記のとおり応募・推薦活動の審 査・選考を行った。

1. 予備選考会

選考委員会は、広告委員会の下部組織である広告プロモーション部会委員と新井範子氏(上智大学経済学部教授)、公庄仁氏(コピーライター)に予備選考を委嘱した。予備選考会は、広告主部門、新聞社企画・マーケティング部門の両部門に応募・推薦のあった全広告活動を対象に審査した。

(1) 第1次予備選考会=6月12、13、14、15、17、18日

広告主部門の全応募活動の中から、各委員がそれぞれ30件を推薦した。また、新聞社企画・マーケティング部門は各委員がそれぞれ20件を推薦した。なお、自社が応募した活動には投票を認めなかった。

(2) 第2次予備選考会=6月25、26日

選考に先立ち座長に根本治朗・広告プロモーション部会長(産 経東京)を互選。審査・選考にあたっては、新聞広告活動の全過 程を対象に評価することを確認した。

25日は新聞社企画・マーケティング部門の選考を行った。第1

次予備選考会の投票結果を踏まえて31件を第2次予備選考会の審査対象とし、審議・投票を重ねた結果、16件を選考分科会に上申することを決めた。

26日は広告主部門の選考を行った。第1次予備選考会の投票結果を踏まえて93件を第2次予備選考会の審査対象とし、審議・投票を重ねた結果、32件を選考分科会に上申することを決めた。

2. 選考分科会=7月11日

広告委員会常任委員と一倉宏氏 (コピーライター、クリエーティブディレクター)、葛西薫氏 (アートディレクター) で構成する選考分科会は、予備選考会から上申された候補活動を審査・選考した。隅浩一郎・広告委員会副委員長 (日経) が座長を務めた。

広告主部門は、32件を対象に議論と投票を行い、1件を新聞広告で、5件を新聞広告で、10件を優秀での受賞候補に決定した。

新聞社企画・マーケティング部門は、予備選考会から上申された16件の当該新聞社からの説明を聞いた上で議論と投票を行い、5件を新聞広告賞、6件を奨励賞の受賞候補とした。なお、自社が応募した活動には投票を認めなかった。

3. 選考委員会=7月12日

選考委員会である7月度広告委員会で、選考分科会座長が選考 経過について報告した。選考委員会は分科会からの上申活動を受 賞候補と決定。9月度新聞協会理事会の承認を得ることとした。

4. 新聞協会理事会=9月4日

理事会は、新聞広告賞選考委員会からの選考結果と選考経過に 関する報告を承認した。

「新聞広告賞」に関する規定



第1条(目的と名称)

日本新聞協会は、新しい新聞広告の可能性を開拓した広告活動を顕彰し、 新聞と広告との発展に資することを目的に「新聞広告賞」を設け、毎年新 聞週間に際し贈賞する。

第2条(表彰の事由・贈賞の対象)

- (1) 新聞広告の新しい活用方法や表現領域の開拓に成功した活動、新聞の媒体特性や新聞社の機能を活用した広告活動、新聞広告と他メディアなどとの連携による効果的な企画・マーケティング活動など、前条の目的に照らして貢献するところが大きいと認められる活動を表彰する。
- (2)本賞は、協会会員紙に掲載され、前項に該当すると認められた広告活動 に贈られる。

第3条(賞の構成)

- (1)本賞は広告主部門と新聞社企画・マーケティング部門の二つの部門によって構成する。
- (2)広告主部門の本賞受賞活動から新聞広告大賞1件を選定する。
- (3)選考委員会は、前項両部門について、本賞とは別に、広告主部門においては優秀賞を、新聞社企画・マーケティング部門においては奨励賞、特別賞を贈ることができる。

第4条(受賞対象)

本賞の受賞対象は、広告主部門については当該活動の企画立案にあたった広告主とし、新聞社企画・マーケティング部門については協会会員新聞社の当該部門とする。

第5条(表彰)

- (1)広告主部門の入選は6件とし、新聞広告大賞1件、新聞広告賞(広告主部門)5件にそれぞれ賞状ならびに副賞を贈る。
- (2) 新聞社企画・マーケティング部門の入選は5件とし、新聞広告賞(新聞社企画・マーケティング部門)として、賞状を贈る。
- (3)広告主部門における優秀賞に対しては賞状と副賞を贈る。
- (4) 新聞社企画・マーケティング部門における奨励賞、特別賞に対しては賞状を贈る。

第6条(応募·推薦)

- (1)本賞は、原則として、本賞の目的に合致した活動を企画、制作、展開した 関係者の応募により選考を行う。ただし、広告関係の第三者による推薦を 拡げない
- (2)応募・推薦の手続きは別に定める。

第7条(選考)

本賞の選考はつぎの方法による。

- (1)会長の任命する委員をもって新聞広告賞選考委員会を組織し、広告賞贈 賞に関する事項を審議決定する。
- (2)選考委員会は、応募・推薦された候補について審議し受賞者を決定、その 旨を理事会に上申し承認を得る。
- (3)選考委員会は、必要に応じ外部の関係者から意見を求めることができる。
- (4) 両部門の特性を考慮し、選考委員会の運営細則を別に定める。
- (5)選考結果は、「新聞協会報」および「新聞広告報」誌上と当協会ウェブサイトで発表する。

第8条(選考の対象期間)

- (1)本賞選考の対象となる活動は、前年6月1日から本年5月末日までの1年 間協会会員各紙に掲載されたものとする。
- (2)上記期間を越える長期の活動については顕彰に値すると選考委員会が 判断した場合は、始期は問わずこれを対象に含める。

第9条(提出資料および締め切り期日)

応募者ならびに推薦者は、当該活動に関する所定の資料をそえて毎年6 月初旬までに選考委員会に提出するものとする。

第10条(その他

本賞の選考および運用の細目については、選考委員会の決定により別に 実施細目を設けることができる。

2022年12月9日改定

Newspaper Advertising Prize 2024 47

第44回新聞広告賞選考委員会名簿(新聞協会員名簿順)

朝日新聞東京本社 メディア事業本部アカウントソリューション担当本部長 消				
			秀	_
毎日新聞東京本社 執行役員営業担当営業総本部長 平		地		修
読売新聞東京本社 取締役ビジネス局長 切		本	裕	寿
日本経済新聞社 執行役員メディアビジネス 広告コミュニケーションユニット長 降			浩一	
	-			章
———————————————————————————————————————	左々	木	美	恵
ジャパンタイムズ ジャパンタイムズエージェンシーメディアソリューション部長 オ	ᡮ	村	あゆ	み
報知新聞社 執行役員ビジネス局長	K	山	-	規
日刊工業新聞社 取締役業務局長	J١	原	敏	永
日刊スポーツ新聞社 新聞統括本部長 平	7	野	英	俊
スポーツニッポン新聞社 執行役員ビジネス編成本部長 中	Þ	村	征	爾
日本農業新聞 執行役員広報局長 山	Ц	本	史	郎
朝日新聞大阪本社メディア事業本部長代理	Ц	下	竜	治
毎日新聞大阪本社バートナーリレーションズセンター次長	₩.	田	拓	肖
読売新聞大阪本社 取締役ビジネス局長	有	田		淳
日本経済新聞大阪本社 メディアビジネス 大阪本社広告コミュニケーションユニット長	ଚ	尾	典	篤
産経新聞大阪本社メディアビジネス局長	申	余	直	行
北海道新聞社 執行役員営業局長・デジタル営業統括	Ξ	浦	雅	典
十勝毎日新聞社 執行役員営業局長	亰	П	暁	史
東奥日報社常務取締役常務執行役員ビジネス局長南	有	谷		毅
デーリー東北新聞社 取締役地域ビジネス局長 川	I		桂	子
岩手日報社 取締役執行役員総合ビジネス局長 鉛	冷	木		淳
				み
秋田魁新報社 営業局長兼編成部長				Ξ
山形新聞社 広告局長 権	_			拓
福島民報社 広告局長 派		井		樹
福島民友新聞社 執行役員営業局長 平		<u></u>		哲
茨城新聞社 取締役営業局長兼事業部長 間				人
			_	勇
上毛新聞社				央
			+	^
		7	午	_
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 金	金	-	年	一
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 神奈川新聞社 取締役クロスメディア営業局長	金	田		学郎
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 金 神奈川新聞社 取締役クロスメディア営業局長 後 千葉日報社 執行役員クロスメディア局長 写	金 篠 早乙	田女	謙司	郎
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 金 神奈川新聞社 取締役クロスメディア営業局長 領 千葉日報社 執行役員クロスメディア局長 写 山梨日日新聞社 取締役メディア企画局長 新	金隆之命	田 女 木	謙司	郎 貴
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 金 神奈川新聞社 取締役クロスメディア営業局長 衛 千葉日報社 執行役員クロスメディア局長 写 山梨日日新聞社 取締役メディア企画局長 新 静岡新聞社 地域ビジネス推進局長 株	金、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	田女木原	謙司精	郎貴崇
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 神奈川新聞社 取締役クロスメディア営業局長 千葉日報社 執行役員クロスメディア局長 山梨日日新聞社 取締役メディア企画局長 静岡新聞社 地域ビジネス推進局長 信濃毎日新聞社 マーケティング局長	金、文学、文学、文学、文学、文学、文学、文学、文学、文学、文学、文学、文学、文学、	田女木原野	謙司精	郎貴崇史
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 神奈川新聞社 取締役クロスメディア営業局長 千葉日報社 執行役員クロスメディア局長 山梨日日新聞社 取締役メディア企画局長 静岡新聞社 地域ビジネス推進局長 信濃毎日新聞社 マーケティング局長 中日新聞社 メディアビジネス局長	金、集、早、年、年、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日	田女木原野山	謙精	,郎贵崇史仁
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 神奈川新聞社 取締役クロスメディア営業局長 千葉日報社 執行役員クロスメディア局長 山梨日日新聞社 取締役メディア企画局長 静岡新聞社 地域ビジネス推進局長 信濃毎日新聞社 マーケティング局長 中日新聞社 メディアビジネス局長 岐阜新聞社 取締役営業本部長兼営業局長	金寨早冷每比小谷	田女木原野山重	謙精淳耕	,郎貴崇史仁平
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 神奈川新聞社 取締役クロスメディア営業局長 千葉日報社 執行役員クロスメディア局長 山梨日日新聞社 取締役メディア企画局長 静岡新聞社 地域ビジネス推進局長 信濃毎日新聞社 マーケティング局長 中日新聞社 メディアビジネス局長 岐阜新聞社 取締役営業本部長兼営業局長 新潟日報社 統合営業本部副本部長兼ビジネス局長	金寨早冷每比小谷可	田女木原野山重部	謙精淳耕	,郎貴崇史仁平久
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 神奈川新聞社 取締役クロスメディア営業局長 千葉日報社 執行役員クロスメディア局長 山梨日日新聞社 取締役メディア企画局長 静岡新聞社 地域ビジネス推進局長 信濃毎日新聞社 マーケティング局長 中日新聞社 メディアビジネス局長 岐阜新聞社 取締役営業本部長兼営業局長 新潟日報社 統合営業本部副本部長業ビジネス局長 北日本新聞社 執行役員メディアビジネス局長 北日本新聞社 執行役員メディアビジネス局長	一金 寨 早 冷 毎 化 小 谷 可 汋	田女木原野山重部谷	謙精淳耕秀	,郎貴崇史仁平久樹
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 金金 神奈川新聞社 取締役クロスメディア営業局長 初 千葉日報社 執行役員クロスメディア企画局長 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日	一金寨早冷每比小谷可钓道	田女木原野山重部谷	謙精 淳 耕 秀宗	,郎貴崇史仁平久樹雅
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 金金 神奈川新聞社 取締役クロスメディア営業局長 初 千葉日報社 執行役員クロスメディア画局長 毎 日 日 日 日 日 日 日 日 日	金寨早冷每化小谷可为首林。	. 田女木原野山重部谷上	謙精 淳 耕 秀宗明司	,郎貴崇史仁平久樹雅美
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 金金 神奈川新聞社 取締役クロスメディア営業局長 初 千葉日報社 執行役員クロスメディア画局長 毎 日 日 日 日 日 日 日 日 日	金寨早冷每化小谷可钓首林高乙	.田女木原野山重部谷上 田	謙精 淳 耕 秀宗明豊司	,郎貴崇史仁平久樹雅美明
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 金金 神奈川新聞社 取締役クロスメディア営業局長 初 千葉日報社 執行役員クロスメディア高長 5年 14年 14年	金寨早命每化小谷可钓道林高石。	·田女木原野山重部谷上 田徳	謙精 淳 耕 秀宗明豊和司	,郎貴崇史仁平久樹雅美明彦
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 金金 神奈川新聞社 取締役クロスメディア営業局長 初 千葉日報社 執行役員クロスメディア局長 与 日 和 和 和 和 和 和 和 和 和	金寨早冷每化小谷可钓首林高石窖。	·田女木原野山重部谷上 田徳本	謙精 淳 耕 秀宗明豊和史司	,郎贵崇史仁平久樹雅美明彦朗
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 金金 神奈川新聞社 取締役クロスメディア営業局長 哲 刊業日報社 執行役員クロスメディアの局長 哲 日 日 日 日 日 日 日 日 日	金寨早冷每比小谷可钓道林高石箸窬乙	·田女木原野山重部谷上 田徳本田	謙精 淳 耕 秀宗明豊和史司	· 郎貴崇史仁平久樹雅美明彦朗勉
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 金金 神奈川新聞社 取締役クロスメディア営業局長 初 千葉日報社 執行役員クロスメディア同長 5日 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	金寨早命每化小谷可钓首林高石奢繁公乙	·田女木原野山重部谷上 田徳本田尾	謙精 淳 耕 秀宗明豊和史 政司	,郎贵崇史仁平久樹雅美明彦朗勉典
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 金金 イ 京 京 京 京 京 京 京 京 京	一金 寨 早 冷 每 化 小 谷 可 钓 道 林 高 石 奢 齋 公 曽 乙	·田女木原野山重部谷上 田徳本田尾田	謙精 淳 耕 秀宗明豊和史 政泉司	,郎贵崇史仁平久樹雅美明彦朗勉典子
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 金金 イ葉日報社 取締役クロスメディア営業局長 イ葉日報社 取締役メディア企画局長 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	金 秦 早 泠 每 化 小 谷 可 沟 首 林 高 石 窨 癬 公 曽 畐 こ	·田女木原野山重部谷上 田徳本田尾田井·	謙精 淳 耕 秀宗明豊和史 政泉英司	,郎贵崇史仁平久樹雅美明彦朗勉典子樹
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 金金 独奈川新聞社 取締役クロスメディア営業局長 独長のロスメディアの画長 独長の世界のでは、	一金 瑧 早 帘 毎 化 小 谷 可 汋 道 林 高 石 奢 齋 公 曽 畐 太乙	·田女木原野山重部谷上 田徳本田尾田井瀬	謙精 淳 耕 秀宗明豊和史 政泉英司	,郎貴崇史仁平久樹雅美明彦朗勉典子樹誠
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 金金 独奈川新聞社 取締役クロスメディア営業局長 独長のロスメディアの高長 独長の世界のでは、	一金寨早冷每化小谷可沟道林高石窖需公兽畐太谷乙	·田女木原野山重部谷上 田徳本田尾田井瀬野	謙精 淳 耕 秀宗明豊和史 政泉英 圭司	,郎貴崇史仁平久樹雅美明彦朗勉典子樹誠助
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 金金 独奈川新聞社 取締役クロスメディア営業局長 独長 投入でして、アイアの間が 独長 投入でして、アイアの間が 独長 投入でして、アイアの間が 独長 投入が 投入では、日本 新聞社 ないでは、日本 がいています。 日本 新聞社 ないでは、日本 がいています。 日本 新聞社 ないでは、日本 本書	金寨早冷每化小谷可钓道林高石奢齋公曽畐云谷寺乙	·田女木原野山重部谷上 田徳本田尾田井瀬野嶋	謙精 淳 耕 秀宗明豊和史 政泉英 圭隆司	,郎貴崇史仁平久樹雅美明彦朗勉典子樹誠助五
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 名	金寨早冷每化小谷可钓道林高石窖需公曽畐云谷寺村乙	·田女木原野山重部谷上 田徳本田尾田井瀬野嶋上	謙精 淳 耕 秀宗明豊和史 政泉英 圭隆直司	,郎貴崇史仁平久樹雅美明彦朗勉典子樹誠助五史
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 名	一金寨早冷每化小谷可钓道木高石窖繁公兽富太谷寺村盒乙	·田女木原野山重部谷上 田徳本田尾田井瀬野嶋上見	謙精 淳 耕 秀宗明豊和史 政泉英 圭隆直俊司	,郎貴崇史仁平久樹雅美明彦朗勉典子樹誠助五史久
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 神奈川新聞社 取締役クロスメディア営業局長 千葉日報社 執行役員クロスメディア局長 山梨日日新聞社 取締役メディア企画局長 静岡新聞社 地域ビジネス推進局長 信濃毎日新聞社 マーケティング局長 中日新聞社 メディアビジネス局長 岐阜新聞社 取締役営業本部最来営業局長 が高日報社 執行役員メディアビジネス局長 北田本新聞社 執行役員東京支社長 北國新聞社 営業局長 市新聞社 東部新聞公のM事業推進局長 京都新聞社 東部行役員営業局長 市新聞社 地域ビジネス局長 山陽新聞社 地域ビジネス局長 山田新聞社 地域ビジネス局長 山田新聞社 地域ビジネス同長 山田新聞社 地域ビジネスプロデュース局長 山田新聞社 地域ビジネスプロデュース局長 地域ビジネスプロデュース局長 地域 地域日本 地域では同業業局長 社会 の締役執行役員営業局長 社会 の新聞社 取締役執行役員営業局長 本西新聞社 教行役員営業局長 本西新聞社 教行役員営業局長 本西新聞社 教行役員営業局長 本西新聞社 教行役員営業局長 本田本新聞社 教行役員営業局長 本田本新聞社 教行役員営業局長 <	一金寨早冷每化小谷可钓道林高石窨齋公曾富太谷寺村瘟秀乙	·田女木原野山重部谷上 田徳本田尾田井瀬野嶋上見島	謙精 淳 耕 秀宗明豊和史 政泉英 圭隆直俊司	,郎貴崇史仁平久樹雅美明彦朗勉典子樹誠助五史久徹
埼玉新聞社 取締役クロスメディア商長 神奈川新聞社 取締役クロスメディア営業局長 代表日報社 執行役員クロスメディア商長 山梨日日新聞社 取締役メディア企画局長 静岡新聞社 地域ビジネス推進局長 信濃毎日新聞社 マーケティング局長 中日新聞社 メディアビジネス局長 岐阜新聞社 取締役営業本部最本営業局長 ボ島日報社 株合営業本部副本部長兼ビジネス局長 北日本新聞社 執行役員メディアビジネス局長 北國新聞社 営業事業局長 伊勢新聞社 京都新聞COM事業推進局長 神戸新聞社 メディアビジネス局長 市房新聞社 地域ビジネス局長 山陰中央新報社 ビジネスプロデュース局長 山口新聞社 執行役員営業局長 協島新聞社 取締役執行役員営業局長 佐島新聞社 取締役執行役員営業局長 西日本新聞社 執行役員営業局長 西日本新聞社 執行役員営業局長 佐賀新聞社 執行役員営業局長 西日本新聞社 執行役員営業局長 佐賀新聞社 執行役員営業局長 佐賀新聞社 執行役員営業局長	金寨早冷每化小谷可钓道林高石窨察公曽畐太谷寺村盒秀田。	·田女木原野山重部谷上 田徳本田尾田井瀬野嶋上見島中	謙精 淳 耕 秀宗明豊和史 政泉英 圭隆直俊司	,郎貴崇史仁平久樹雅美明彦朗勉典子樹誠助五史久徹稔
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 神奈川新聞社 取締役クロスメディア営業局長 千葉日報社 執行役員クロスメディア局長 山梨日日新聞社 取締役メディア企画局長 静岡新聞社 地域ビジネス推進局長 信濃毎日新聞社 マーケティング局長 中日新聞社 メディアビジネス局長 岐阜新聞社 取締役営業本部長兼営業局長 新潟日報社 執行役員メディアビジネス局長 北巴本新聞社 営業局長 北日本新聞社 営業事業局長 伊勢新聞社 京都新聞COM事業推進局長 神戸新聞社 東京イアビジネス局長 山陽新聞社 地域ビジネスプロデュース局長 山陽新聞社 地域ビジネスプロデュース局長 山路中央新報社 ビジネスプロデュース局長 山路市聞社 地域ビジネスプロデュース局長 山路新聞社 地域ビジネスプロデュース局長 山路新聞社 地域代役員営業局長 近路局長 会長 近路所聞社 取締役執行役員営業局長 西日本新聞社 執行役員営業局長 西日本新聞社 執行役員営業局長 西田本新聞社 執行役員営業局長 西田本新聞社 執行役員営業局長 西田本新聞社 執行役員営業局長 西田本新聞社 執行役員営業局長 西田本新聞社 執行役員営業局長 西田本新聞社 執行役員営業局長	金寨早冷每化小谷可钓道林高石窨齋公曽富太谷寺村盒秀田森乙	·田女木原野山重部谷上善田徳本田尾田井瀬野嶋上見島中永	謙精 淳 耕 秀宗明豊和史 政泉英 圭隆直俊司	,郎貴崇史仁平久樹雅美明彦朗勉典子樹誠助五史久徹
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 神奈川新聞社 取締役クロスメディア局長 千葉日報社 執行役員クロスメディア局長 山梨日日新聞社 取締役メディア企画局長 静岡新聞社 地域ビジネス推進局長 信濃毎日新聞社 マーケティング局長 中阜新聞社 取締役営業本部長兼営業局長 中島新聞社 取締役営業本部長兼営業局長 北日本新聞社 取締役営業本部長兼営業局長 北日本新聞社 執行役員東京支社長 北國新聞社 営業局長 市場開社 第部間COM事業推進局長 本海野間社 東部大門人員真東支社長 山陽新聞社 東部人員の無異局長 山陽新聞社 地域ビジネス局長 山陰中央新報社 ビジネスプロデュース局長 山陰中央新報社 ビジネスプロデュース局長 山宮新聞社 東京長 四国新聞社 東京長 四国新聞社 東京長 本の出新聞社 東京局長 海知新聞社 東京局長 海知新聞社 東京局長 海の知新聞社 東京局長 海の知新聞社 東京局長 海の知新聞社 東京局長 海の別報 東京 海の別報 東京 海の別報 東京 海の別報 東京 <tr< td=""><td>金寨早冷每化小谷可沟道林高石窨窬公曾富太谷寺村盒秀田森毛。</td><td>·田女木原野山重部谷上善田徳本田尾田井瀬野嶋上見島中永利</td><td>謙精 淳 耕 秀宗明豊和史 政泉英 圭隆直俊 聖司</td><td>,郎貴崇史仁平久樹雅美明彦朗勉典子樹誠助五史久徹稔玲一</td></tr<>	金寨早冷每化小谷可沟道林高石窨窬公曾富太谷寺村盒秀田森毛。	·田女木原野山重部谷上善田徳本田尾田井瀬野嶋上見島中永利	謙精 淳 耕 秀宗明豊和史 政泉英 圭隆直俊 聖司	,郎貴崇史仁平久樹雅美明彦朗勉典子樹誠助五史久徹稔玲一
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 神奈川新聞社 取締役クロスメディア局長 千葉日報社 執行役員クロスメディア局長 山梨日日新聞社 取締役メディア企画局長 静岡新聞社 地域ビジネス推進局長 信濃毎日新聞社 マーケティング局長 中日新聞社 取締役営業本局長 中日新聞社 取締役営業本局長 北日本新聞社 取締役営業本局長 北日本新聞社 執行役員メディアビジネス局長 北国新聞社 営業局長 市新聞社 営業事業局長 北国新聞社 財務役東京支社長 京都新聞社 京都新聞COM事業推進局長 市新聞社 財務役東京支社長 京都新聞社 財務役東京支社長 市場所聞社 財務役東京支社長 山陽新聞社 財行役員営業局長 山田新聞社 財行役員営業局長 近路長期間社 財務役員とディアビジネス局長 大分合同新聞社 取締役来務局長 大分合同新聞社 取締役業務局長 大分合同新聞社 上席執行役員マーケティング級抵局長	金寨早冷每化小谷可沟道林高石窨窬公曾富公谷寺村温秀田森毛青乙	·田女木原野山重部谷上善田徳本田尾田井瀬野嶋上見島中永利木	謙精 淳 耕 秀宗明豊和史 政泉英 圭隆直俊 聖貴司	,郎貴崇史仁平久樹雅美明彦朗勉典子樹誠助五史久徹稔玲一史
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 領 神奈川新聞社 取締役クロスメディア営業局長 領 千葉日報社 執行役員クロスメディア局長 事 山梨日日新聞社 地域ビジネス相談局長 相 信濃毎日新聞社 マーケティンク局長 コートリー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	金 寨早冷 每化小 谷 呵 汋 道 林 高 石 窘 齋 公 曽 畐 太 谷 寺 吋 盒 秀 田 森 毛 青 田 乙	·田女木原野山重部谷上善田徳本田尾田井瀬野嶋上見島中永利木代	謙精 淳 耕 秀宗明豊和史 政泉英 圭隆直俊 聖貴司	,郎貴崇史仁平久樹雅美明彦朗勉典子樹誠助五史久徹稔玲一史学
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 金金 神奈川新聞社 取締役クロスメディア音楽局長 イイ 中奈川新聞社 販締役メディア企画局長 第 山梨日日新聞社 地域ビジネス推進局長 4 台灣毎日新聞社 マーケティング局長 1 中日新聞社 メディアビジネス局長 1 岐阜新聞社 取締役営業本部副本部長兼ビジネス局長 2 新潟日報社 執行役員メディアビジネス局長 3 北日本新聞社 第7役員メディアビジネス局長 3 福井新聞社 営業再業局長 3 福井新聞社 営業局長 3 福井新聞社 第8新間COM事業推進局長 3 中国新聞社 東部新聞COM事業推進局長 3 中国新聞社 東部・東部長 3 中国新聞社 東部・投資政業業局長 3 中国新聞社 東部・投資政業業局長 3 中国新聞社 東部・投資政業局長 3 中国新聞社 東部・大党政局長 3 中国新聞社 東部・大党政・アイアビジネス局長 3 中国新聞社 東部・大党政・アイアビジネス局長 3 市国新聞社 東部・大党政・アイアビジネス局長 3 市国新聞社 東部・大党政・アイアビジネス局長 3 市国新聞社	金 寨早冷 每化小 谷 可 汋 首 林 高 石 奢 齋 公 曽 畐 太 谷 寺 吋 盒 秀 田 森 毛 青 田 田 乙	·田女木原野山重部谷上善田徳本田尾田井瀬野嶋上見島中永利木代代	謙精 淳 耕 秀宗明豊和史 政泉英 圭隆直俊 聖貴 博司	,郎貴崇史仁平久樹雅美明彦朗勉典子樹誠助五史久徹稔玲一史学文
埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 領 神奈川新聞社 取締役クロスメディア営業局長 領 千葉日報社 執行役員クロスメディア局長 事 山梨日日新聞社 地域ビジネス相談局長 相 信濃毎日新聞社 マーケティンク局長 コートリー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	金 寨早冷 每化小 谷可 沟道 林 高 石 窨 癬 公 曽 畐 広 谷 寺 吋 盒 秀 田 森 毛 青 田 田 高	·田女木原野山重部谷上善田徳本田尾田井瀬野嶋上見島中永利木代代	謙精 淳 耕 秀宗明豊和史 政泉英 圭隆直俊 聖貴司	,郎貴崇史仁平久樹雅美明彦朗勉典子樹誠助五史久徹稔玲一史学文子

以上63人